

小中学校における道徳科の取組状況

1 小学校

○教科書の教材を活用した授業において、授業のねらいを明確にし、教師が発問を精選することで、子どもたち自身が自己の生き方を見つめる道徳の授業をめざし、取り組んでいます。

①いなべ市立丹生川小学校

(1) 教材名：「心の管理人」（出典：小学道徳ゆたかな心5年 光文書院）

(2) 内容項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任

(3) 授業の概要：3つの駐輪場（**A**の駐輪場はロープがあるが、自転車はそれに関係なく適当に置かれている。**B**の駐輪場は、線が引かれ、管理人もいて整理されている。**C**の駐輪場はロープや線はなく「この場所の管理人はあなたです」と書かれた看板があり、自転車はきちんと置かれている。）の絵を比較し、自由な駐輪場かそうでないかを、他者の意見を参考にしながら、自由とは何かについて考える。

<指導過程>

時間	教師の働きかけ&学習活動など	指導上の留意点
導入 5	<p>(1) 自分の持っている概念を整理する。</p> <p>○自由でないとはどういうことだと思いますか。 (予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりがある ・好きなことができない ・やらされている ・何か言われる <p>では、その反対が自由ということになりますね。 (予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりがない ・好き勝手すること ・自分のやりたいことができる ・何も言われない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由でないことを考えさせて、自由とは何かを考えさせる。 ・書かさずに、発表させる。 ・展開のときにふりかえられるよう、たくさん意見を出しておく。 ・現在の考えを揺さぶる →資料から考えるヒントをみつける →自分の考えをもつ の流れで展開していきたい。
展開 ① 19	<p>(2) 教材「心の管理人」を読む。</p> <p>○先生が心の管理人を読みます。大切と思うところには線を引きましょう。</p> <p>○A、B、Cの3つの駐輪場の違いについて考える。 どのような駐輪場でしょう。 (予想される反応)</p> <p>A…・適当に停めている。 ・目印のロープがある。 ・ぐちゃぐちゃ。</p> <p>B…・きちんと整理されている。 ・線が引かれている。 ・管理人がいる。</p> <p>C…・きちんと整理されている。 ・看板がある。 ・管理人は自分。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一度の範読で理解できるよう、大事な箇所には線を引かせる。 ・拡大図を掲示する。 ・駐輪の仕方、目印や線の有無、管理人の有無の違いを確認する。

	<p>○A、B、Cを「自由」「自由ではない」に分ける。 今日のテーマは自由でしたね。A、B、Cの駐輪場をそれぞれ自由か自由でないに分けてみましょう。 (予想される反応)</p> <p>A…自由 ・好きなところに置かれているから。 ・勝手なところに停めているから。</p> <p>B…自由でない ・管理人がいるから。 ・線が引いてあり好きに置けない。 ・ちゃんと置かないと怒られそう。</p> <p>C…自由 ・ロープや線はないから。 ・自分たちで考えて並べているから。 ・どこに置いてもいいから。</p> <p>○A、Cの自由の違いを考える。 A、Cはどちらも同じ自由ですか。違う自由ですか。 (予想される反応)</p> <p>A…・好き勝手な自由 ・自由すぎる</p> <p>C…・きまりのある自由 ・人のことを考えた自由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入で確認した「自由」「自由でない」をヒントにA、B、Cはどちらに当てはまるかを考える。 ・「自由・自由ではない」は、「自由か・自分勝手か」で置き換えさせて考えさせる。
<p>展開② 10</p>	<p>(3) 改めて、自分の持っている概念を整理する。 ○初めに思っていた自由と比べて、今、自由とはどういうことだと思いますか。 (予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決められた中で、好きにすること。 ・相手や人のことを考える自由が大切。 ・誰かのことを考えること。 ・ルールや規則を守って、みんなが楽しめる自由が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自由⇔自由でない」を対比させながら、好き勝手するだけが自由でなく、周りのことを考えて行動する自由があるということ気付かせたい。
<p>終末 11</p>	<p>(4) まとめ ○今日の授業で自由とはどういうことだと思いましたか。 初めに思っていた自分の考えと比べたり、友達の意見と比べながら書いてみましょう。 ふりかえりシートに授業の感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の考え→友達の考えを聞く →どのような変容があったかを感想として書かせたい。 <p>A→B→A' A→B→AB A→B→B</p>

(4) 学習での子どもの声（振り返りシートから）

- ・授業を受けるまでは、自由とは自分のしたいことをすることだと思っていたけれど、人のこともちゃんと考えることが必要だと思った。
- ・私はAの駐輪場は自由だと思っていたけど、〇〇君は自由ではないと言っていて別の考えを聞くことができた。自由は自由でも、Aの駐輪場とCの駐輪場は、また別の自由で人によって自由の感じ方はそれぞれだと思った。
- ・みんなの意見を聞いているとCの駐輪場はやっぱり自由なのかなと感じた。でもAの駐輪場は、自由は自由でも僕はやっぱり違うなと感じた。



意見を出し合う様子

②四日市市立羽津小学校

(1) 教材名：「モムンとヘーテ」（出典：小学道徳ゆたかな心2年 光文書院）

(2) 内容項目：B 友情、信頼

(3) 授業の概要：力を合わせて取り出した栗の実をヘーテに独り占めにされ、栗の皮だけを渡されたモムンが、大雨の中、自分の荷物を捨て、栗の皮の船にヘーテを乗せて助けるという教材である。モムンが「一緒に逃げよう」と言ったのはなぜかを、教師と児童が役割演技をすることで、助け合うことのよさについて考える。

<指導過程>

	学習活動	指導上の留意点
つかむ (5) 見通す	1. 教材「モムンとヘーテ」の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・モムンとヘーテのペープサートを用いながら読むことで内容を理解する手立てとする。 ・モムンとヘーテが友だちであることをおさえ、ねらいとする価値への方向付けをする。
考える (10)	2. 「モムンとヘーテ」について話し合う。 ○モムンは皮だけしかくれなかったヘーテのことをどうおもっているのでしょうか。【人間理解・他者理解】 (予想される反応) ・友だちじゃない。 ・嫌いになった。 ・ひどい。 ・友だちなら実をくれてもいいのに。 ○だまっているモムンはヘーテのことをどう思っているのでしょうか。【人間理解・他者理解・自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘーテの自分勝手な行動に対する多様な感じ方や考え方を引き出し、板書で整理する。 ・もう一度本文を読みながら、ヘーテの言葉を黒板に貼ることで、黙っているモムンの気持ちを考えさせる手立てとする。

	<p>(予想される反応)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><ゆるす></p> <ul style="list-style-type: none"> ・許そうかな ・一緒に助かる方法を考えよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><ゆるせない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ許せない。 ・また、いじわるなことをするかもしれない。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・二人で助かる方法を考えるという意見が多いときには、「モムンのことを心配するヘーテに対して、それでも黙っているのはどんな気持ちがあるからだろうか。」と問いかけ、友だちのことを許せない気持ちがあることを意識させる。 ・板書で整理し、自分はどの気持ちが強いかわかせる。
<p>深める (25)</p>	<p>◎モムンが「いっしょににげよう。」と言ったのは、なぜでしょうか。【価値理解・他者理解】</p> <p>(予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実をくれなかったけど、ヘーテは大切な友だちだから、助けたい。 ・友だちだから一緒に逃げようと思った。 ・おいて行ったら友だちじゃない。 ・ヘーテと友だちでいたいから。 ・一緒に逃げなきゃ危ないから。 ・ヘーテが死んでしまうから助けたい。 <p>○栗のかわにのったモムンとヘーテはどんなお話をしているのでしょうか。【価値理解・他者理解】</p> <p>《役割演技》</p> <p>教師（ヘーテ）「モムン、ありがとう。」</p> <p>(予想される反応)</p> <p>児童（モムン）「友だちだから、あたりまえだよ。」 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モムンの心の揺れを確認した後、それでも一緒に逃げようと言ったモムンの気持ちをワークシートに書き込ませる。 ・板書で整理し、友だちというキーワードに着目できるようにする。 ・教師（ヘーテ）と児童（モムン）で役割演技をすることで、友だち同士が助け合うことのよさを感じられるようにする。 ・役割演技の中から価値につながる言葉を板書する。

<p>まとめ (5)</p>	<p>3. 自分の生活を振り返る。 ○友だちとけんかをしても仲直りをしたことや、友だちが困っているときに助けたり、友だちに助けってもらったりしたことはありましたか。その時、どんなことを思いましたか。【価値理解・自己理解】 (予想される反応) ・隣の席の子が忘れ物をして困っていたから、貸してあげた。 ・けんかしたけれど、仲直りして一緒に遊べた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返ってワークシートに書かせる。 ・仲直りした経験や友だちを助けた行為や助けられた行為だけを振り返るのではなく、その時の気持ちにも気づかせたい。 ・時間があれば、児童の経験をクラス全体に広げ、実践への意欲につなげたい。
--------------------	--	---

(4) 学習での子どもの声 (授業中の発言から)

- ・ヘーテに木の実ばかり占められたけど、自分一人で逃げたらヘーテが困った時に助けてあげられないと思った。
- ・ヘーテと一緒に逃げると安心。友だちが大事だと思った。
- ・ヘーテが一番の友達だから助けたのだと思う。
- ・ヘーテとはずっと友達のままがいいし、大事な仲間がいなくなったらいやだと思った。



役割演技の様子

2 中学校

○来年度の教科化を見据え、文部科学省「私たちの道徳」に掲載された教材等を活用した授業において、「考え、議論する道徳」の授業をめざした授業構成や発問の仕方等について研修を進めています。

①津市立久居東中学校（3年）

(1) 教材名：「一冊のノート」（出典：文部科学省 私たちの道徳 中学校）

(2) 内容項目：C 家族愛、家庭生活の充実

(3) 授業の概要：日々老いてゆく祖母の行動に心配をしながらも苛立ちを感じてしまう「僕」が家族に対する祖母の思いが書かれた祖母のノートを見つけ、祖母への気持ちが変化していく様子について、生徒自身の家族との関わりについて、思いを出し合ったり、ワークシートにまとめたりすることを通して、家族への愛情や感謝の気持ち等について考える。

<指導過程>

時間	学 習 活 動	主発問と予想される生徒の反応	教 師 の 支 援
導入 (5分)	これまでの自分の体験を出し合う	「最近、家族に感謝したことはどんなことですか」 (予想される反応) ・雨の日に車で迎えに来てくれた ・誕生日にプレゼントをもらった ・おいしいご飯を作ってくれた	・家族形態は多様化していることに配慮する。 ・全ての意見を受容し、和やかな雰囲気づくりを心がける。
展開 (35分)	教師の範読を聴く 登場人物の確認をする	「主人公の気持ちが分かるところに線を引きながら聴きましょう」 ・「登場人物は〇〇です」←教師が確認する。	・気持ちを込めて読む ・主人公は「ぼく」ということを明確にする ・生徒に登場人物を答えさせるのではなく、教師が確認していく。
	主人公の祖母に対する気持ちを考える	「主人公はおばあちゃんのことをどう思っていましたか」 (予想される反応) ・物忘れがひどくて困ったものだ ・迷惑だ ・いい加減にしてほしい ・恥ずかしい	・たくさんの生徒の意見を聞きつないでいく。 ☆補助質問「いろいろなことがあったけれど主人公はおばあさんのことをどう思っているのだろう」

	一冊のノートを見た主人公の気持ちを考える	<p>★中心発問「一冊のノートを見て、主人公は何を思いましたか」 (予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃんは苦しんでいたんだな ・これからおばあちゃんを助けるよ ・長生きしてほしい ・今までつらくあたってごめん 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意見を聞きつないでいく。 ☆補助発問「〇〇さんは、こういう意見ですが、あなたはどう思いますか」
まとめ (10分)	<p>自分の家族について考える</p> <p>「家族」についての記事の紹介を聴く。</p>	<p>「今までの自分を振り返り、家族のことを思い自分にできることは何ですか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 ・補助発問「今までクラブ等で送迎やお弁当を作ってもらったことはありませんか」

(4) 学習での子どもの声 (振り返りシートから)

- ・ぼくのおばあちゃんは週に3回ほど家に来て家事をしてくれる。買い物にも行ってくれるけれど、最近物忘れが多くて、頼んだものと違うものを買ってしまうことがある。家でも忘れることが多くて、僕が手伝う。自分のしたいことができなくなって、よくおばあちゃんを責めるけれど、今回の授業で反省して、あまり責めずに優しくしたい。
- ・部活をしているときは、朝早くから御飯を作ってくれる。自分が腰や足を痛めてしまった時もマッサージをしてくれて本当にうれしかった。でも私は、自分がものを頼んでばかりで頼まれたことは全然できていないし、自分の都合を押し付けてしまうことも多い。その分を何かで返したい。



思いを出したり、自分を振り返ったりする様子